

# パッケージ販売強化

## 日立ソフト 27種で専任営業体制 責任を明確化、収益確保

日立ソフトは公共、金融、法人、通信メディアの各事業部にパッケージソフト販売の専任営業担当者を配置し、パッケージごとに販売目標を設定するなど自社製パッケージソフトの営業体制を強化する。景気後退を受けて、システム開発案件が減少する中、パッケージ販売の責任体制を明確化し、収益確保につなげ、同社全体の営業利益に占めるパッケージ事業の割合を2010年度までに50%（07年度は29%）に引き上げる。

内部統制評価・分析支「エバリュエーター」や電援ソフト「アイコト」・「子メール」誤送信防止ソフト「留める」など、主要パッケージソフト27種に専任の営業担当者57人を配置した。日立ソフトは、日立ソフトは従来、事業部や営業会議で自社パッケージの特徴を把握

顧客企業ごとに販売目標を設定してきた。そのため、営業担当者は数百万円単位のパッケージ販売より高額の営業成績を出せるシステム開発案件の受注を重視してきた。また、製品ごとに販売を担当する事業部を決めていたため、販売先の業種が限定されていた。これらの問題解決に向け、各事業部のパッケージ専任営業担当者が参加

した販売会議を毎月開催して全社レベルのパッケージ営業戦略を策定。全

国300人の営業担当者を対象に各パッケージの特性を説明する営業会議を年2回開催し、他事業部が担当するパッケージを全社横断型で販売する営業体制を整える。09年度には「パッケージの販売数値目標を達成」を目的としたプロダクト・パッケージ事業をテコ入れする。

日立ソフトは8日、プログラム言語のJavaを用いた情報システム

強化版を発売

31の実装ルール追加

Javaコード診断ツール

日立ソフトは8日、プログラム開発で、コーディングロジック全体で組織的にチェックできる集中型Javaコード診断ツールの機能強化版を10日に発売すると発表した。パッケージ（プログラムの誤りに直結しやすいソースコード）を指摘できるよう、新たに31のルールを追加した。価格は10ユーザ対応で105万円。年間500ライセンスの販売を見込む。

新製品「エニウェアコードディレクター5.2」は、プロジェクトで定めた標準規約に基



## 電設資材7商社と提携

### 藤原事務所 中小向け販路拡大

藤原事務所（京都市南区、藤原和夫社長、075-315-1335）は、中小企業向け統合業務ソフトウェアの販路拡大を狙い、電設資材商社7社と提携した。販売エリアを関西だけでなく北陸、東海、四国にも広げた。同時に、ユーザーの導入コストを軽減するレンタル販売も始め、拡販につなげる。

藤原事務所のパッケージ製品すべてを月額レンタルサービスでも提供する。同社はパッケージソフトの開発・販売のほか、電気設備の積算受託業務なども手がけている。今回提携したのは、丸和電業（金沢市）、三和電材（名古屋市西区）など地域密着型の電設資材商社7社。営業人数は全体で約500人、対象企業は1万社になる。

藤原事務所のパッケージ製品すべてを月額レンタルサービスでも提供する。同社はパッケージソフトの開発・販売のほか、電気設備の積算受託業務なども手がけている。今回提携したのは、丸和電業（金沢市）、三和電材（名古屋市西区）など地域密着型の電設資材商社7社。営業人数は全体で約500人、対象企業は1万社になる。

藤原事務所のパッケージ製品すべてを月額レンタルサービスでも提供する。同社はパッケージソフトの開発・販売のほか、電気設備の積算受託業務なども手がけている。今回提携したのは、丸和電業（金沢市）、三和電材（名古屋市西区）など地域密着型の電設資材商社7社。営業人数は全体で約500人、対象企業は1万社になる。

## 購入推薦CDを自動選出

日本図書館協会（東京都中央区、塩見昇理事長、03-35523-0811）は、図書館向けCD選出・発注システム「シェイラムス」を発売した。既刊作品から発売前の新刊まで約14万枚のCDデータベース（DB）を構築、図書館の購入判断に役立つ。図書館の予算や収集ジャンル傾向に合わせて、購入推薦CDを自動選出する機能を持つ。年間使用料は、3ライセンスで6万円。

システムは音楽出版社（東京都文京区）と同協会が共同で開発した。CDの曲目・品番・発売日などの基礎情報に加え、メディア紹介情報、音楽出版社による紹介コメントや購入推薦

度などをDB化した。図書館の予算と収集するCDのジャンル構成を入力すれば、自動的に毎月の購入推薦CDを選出する。

簡単な操作で購入リストが作成でき、システム上からのCD発注も可能。システムはCD卸売大手ワイント（東京都品川区）の在庫データと接続されており、一枚から発注できる。利用者サービスの向上を目指し、CDやDVDの収集力を入れる図書館は多い。しかし、購入リスト作りや発注に手間がかかり、音楽に詳しくない図書館員に負担がかかるという。同協会ではCD選出・発注システムを導入により、これらの問題が解消されるとも期待する。将来はDVDについても選出・発注ツールを開発する予定。

### 日本図書館協会

## 音楽出版社と開発

音楽出版社と開発

音楽出版社と開発

音楽出版社と開発

音楽出版社と開発



KDDIは8日、音楽機能に特化したソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ製携帯電話端末「Walkman Phone Xmini（ウォークマンホン エックスマイニ）」を12月下旬に発売すると発表した。約2300曲を保存できる4ギガのメモリを内蔵したほか、原音を忠実に再現するソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ製携帯電話端末「Walkman Phone Xmini」の高音質技術を採用。端末価格は一括払いで4万円後半半を想定する。

本体は幅44×高さ75×厚さ18ミリ、重さ約75グラムと小型・軽量。カメラや「ワンセグ」などの機能に特化したソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ製携帯電話端末「Walkman Phone Xmini」の高音質技術を採用。端末価格は一括払いで4万円後半半を想定する。

## KDDI 高音質で2300曲保存 ソニー・エリクソン製携帯

## 情報通信

## 電子文書管理サービス MSオフィス対応

NECCビッググループ（東京都品川区、飯塚久夫社長、03-6479-5511）は8日、情報漏えいリスクなどを低減する電子文書管理サービス「BIGLOBEドキュメントコントロール」を、ワードやエクセルなどマイクロソフトオフィスで作成された文書に対応させたことを発表した。従来は編集作業が不可能だった。2011年3月末までに600社への導入を目指す。

BIGLOBEドキュメントコントロールは特定の電子文書に対し「閲覧できる担当者」「閲覧可能期間」などを規定するポリシーを付与できるようにするサービスで、SaaS（ソフトウェア）型の機能のサービス提供が可能で提供している。今回、アップで提供する。今後の事業拡大に向け、独立系ソフトウェアやシステム構築（SaaS）事業者などITサービス企業に加え、出版社や学習塾といった教育事業者もパートナーとして募集する。

ITサービス企業が人材管理システムやスキル評価システムなど自社のSaaS型システムを提供。教育事業者もカリキュラムや教育システムなどを活用し、SaaSを通じて提供して、統合、利用環境をワンストップで提供

## SaaS型教育システム パートナー企業拡充

日本ユニシスは8日、SaaS（ソフトウェア）機能のサービス提供形式の人材教育システム事業のパートナー企業ネットワークを拡充すると発表した。従来のソフトウェアだけでなく、SaaS型システムも提供し、教育事業者からのパートナー企業も募集する。日本ユニシスのSaaS型システムは、パートナー企業は自社のラーニングシステムなどを単独または他社システムと連携して09年4月から提供可能。日本ユニシスはパートナー企業を拡充し、教育事業者もITサービス企業に加え、出版社や学習塾といった教育事業者もパートナーとして募集する。

ITサービス企業が人材管理システムやスキル評価システムなど自社のSaaS型システムを提供。教育事業者もカリキュラムや教育システムなどを活用し、SaaSを通じて提供して、統合、利用環境をワンストップで提供

## 富士通、理研から受注 論理性能9倍のスパコン

富士通は8日、論理性能が現行比約9倍の108コアのスパコン（1テラフロップス）を毎秒1兆回の浮動小数点演算速度を実現する新スパコン「ヒューター（スパコン）」を、理化学研究所から受注したと発表した。受注額は約36億円。クワッドコア（回路が4個）対応のインテル製の次期「ジェオン」シリーズ（開発コード名はネパール）を搭載するx86サーバ1024台で並列計算を行う。CPU数は2048個、コア数は計8192個となる。次期ジェオン

富士通製のx86サーバ「ブレイク」に2つのCPU（次期ジェオン）を搭載する。1024台でCPU数は2048個、コア数は計8192個となる。次期ジェオン

富士通製のx86サーバ「ブレイク」に2つのCPU（次期ジェオン）を搭載する。1024台でCPU数は2048個、コア数は計8192個となる。次期ジェオン